



東京園芸ニュース (28年度-106号)

平成29年 3月 / 群馬県東京園芸情報センター

「藪塚こだま西瓜」初荷に合わせて JA太田市が大田市場で試食宣伝会を開催！

JA太田市「藪塚こだま西瓜」の試食宣伝会

- 期間：3月1日(水)
- 場所：(株)大田市場 東京青果
- 主催：JA太田市、太田市、JA全農ぐんま
- 内容：「藪塚こだま西瓜」の紹介や試食宣伝会等

糖度高くシャリ感良く食味良好！

群馬県JA太田市の「藪塚こだま西瓜」が初荷を迎えることから、産地より生産者やJA職員、太田市職員の方々が来場して試食宣伝会が開催されました。また、太田市のマスコット「おおたん」と、群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」も応援にかけつけて会場を盛り上げました。

今年は、1月中下旬の乾燥と低温の影響で圃場によっては交配作業のバラつきも若干見られましたが、天候にも恵まれ生育は総じて順調に推移しているとのこと。果実の肥大も順調に進んでおり、玉サイズは5～6玉中心で果皮の縞もよく、やや甲高の楕円形となっています。事前に検査した個体は糖度14～15度で、シャリ感も良く、食味は良好とのこと。

品種構成は、愛娘系（さくら・あすか）が約90%を占め、ひとりじめ（セブン・EX）が約10%で、昨年より若干愛娘系の割合が増加しているとのこと。

こだますいかのH28年都中央入荷量は、茨城県に次いで群馬県が2位（市場占有率13%）となっています。

すいか作り100年の歴史とおいしいこだますいかをPR！

JA太田市野菜センター運営委員会の羽鳥委員長から「藪塚地区は水はけが良く寒暖差も大きいためすいか作りには適した地域であり、さらに当地区はすいか作り100年の歴史があり優れた技術があります。今年も糖度が高くシャリ感の良いおいしいこだますいかことができましたのでよろしくお祈りします。」と、JA太田市の塚越副組合長から「今日から当市場に「藪塚こだま西瓜」が出荷されます。7月末までに13万ケースを目標に取り組んでいますのでよろしくお願い致します。」と挨拶がありました。

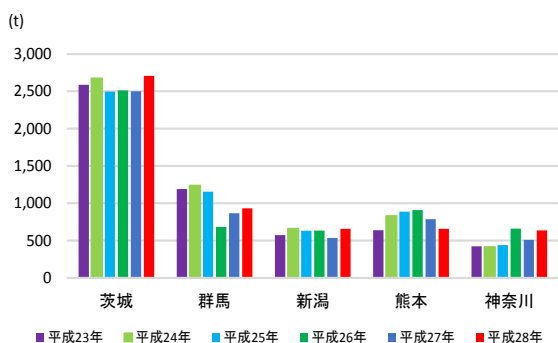
当日は、用意されたこだますいかを市場関係者に試食提供され、「甘くておいしい。」「食感が良い。」と大好評でした。リーフレットも配布され「藪塚こだま西瓜」の特徴をPRしました。



「藪塚こだま西瓜」展示の様子



試食宣伝の様子



こだますいかの年別・産地別都中央入荷量



JA太田市が「藪塚こだま西瓜」をPR